

2023年12月7日

児玉コンクリート工業株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～地元企業のSDGs達成に向けた取組みをサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、児玉コンクリート工業株式会社（東京都豊島区、代表取締役社長 児玉 桜）の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《SDGs宣言策定企業の概要》

項目	内 容
企 業 名	児玉コンクリート工業株式会社
代 表 者	代表取締役社長 児玉 桜
所 在 地	東京都豊島区南池袋1丁目16-20
業 種 および 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートパイル製造、施工開発、施工管理業 ・屋内家具、スポーツ施設、医療福祉施設用品販売業 ・不動産売買、賃貸管理業
設 立	1959年1月12日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・『健康経営』や『ダイバーシティ経営』を実践し、従業員の自立的成長と安心・安全に働くことができる職場を目指す ・『カーボンニュートラル社会』の実現に向け、脱炭素経営を更に推進する ・社会インフラ基盤を支える企業として、『持続可能なまちづくり』への貢献を続けていく ・地域連携体制の創出・強化により、『地域経済の活性化』に貢献します (詳細につきましては別紙を参照ください。)

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641-6111 (代)



2023年11月21日

児玉コンクリート工業株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 児玉 桜

SDGsの達成に向けた取り組み

『健康経営』や『ダイバーシティ経営』を実践し、従業員の自立的成長と 安心・安全に働くことができる職場を目指す

- ・従業員の健康の維持増進に努めるとともに、ワークライフバランスに配慮した働き方を推進していくことで、有給休暇消化率100%を目指します。また、工場では『労災ゼロ』を第一とし、KY活動や作業前ミーティングを徹底することで従業員のケガや事故ゼロを継続していきます。
- ・多様な人材や女性が利用しやすい職場環境を整え、女性を積極採用していくほか、女性リーダーや女性管理職を計画的に育成していきます。
- ・お互いにコミュニケーションのしやすい職場づくりを行い、業務分担の見直しや互換性を向上させるほか、会議時間の削減等の働き方改革を推進していきます。また、従業員の業務に必要な資格取得を促進するため、資格手当の対象を拡大し、従業員のやる気を引き出していきます。



【指標】

2023年 従業員の有給休暇消化率 90%	⇒	2030年 100% (+10%)
2023年 女性リーダー・女性管理職の人数 2名	⇒	2030年 5名 (+3名)
2023年 役員会と経営会議の平均所要時間 90分/60分	⇒	2030年 80分/54分 (▲10%)
2023年 資格手当の対象者割合 70%	⇒	2030年 100% (+30%)

『カーボンニュートラル社会』の実現に向け、脱炭素経営を更に推進する

- ・社有車の環境配慮型車両への入れ替えを進め、CO2排出量を削減していきます。
- ・工場の機械設備を順次更新し、機械や重機の稼働時間の効率化も進め、工場における消費エネルギー削減も行っていきます。
- ・工場では産業廃棄物を分別管理し、資材としてリサイクル可能なものはリサイクルしていきます。
- ・また、生産管理計画を高度化し、残コンクリートや木くず等の産業廃棄物を削減していきます。
- ・業務の効率化や電子化により、会議資料を始めとした社内資料のペーパーレス化を進めていきます。



【指標】

2023年 社有車の環境配慮型車両の導入割合 17% ⇒ 2030年 30% (+13%)

社会インフラ基盤を支える企業として、『持続可能なまちづくり』への貢献を続けていく

- ・当社は70年以上にわたり、コンクリートパイルと工法の開発、施工技術の提供を行ってきましたが、今後も長年培ってきた技術で「安心・安全」な杭基礎を提供し、まちの安全で快適な未来の基礎を築いていきます。
- ・次世代の技術者育成に力を入れていくとともに、DX化を推進し、設計精度を向上させていきます。



地域連携体制の創出・強化により、『地域経済の活性化』に貢献します

- ・地域の施工業者や設計事務所等と連携していくほか、地域の新規取引先業者を増やしていくことで地域のネットワークを更に拡大させ、地域経済の活性化へ貢献していきます。
- ・地域イベントや社会貢献活動へ積極的に参加し、創業以来お世話になっている地元地域へ貢献していきます。

